



黒岩探訪

たんぼう

46

KUROIWA
くろいわ

石造物集中地区

先月の公民館事業「ふるさと黒岩歴史学び隊」で案内した中に、田中前の石造物、共和公会堂の石造物、向戸公会堂の石造物がありました。一般的に石造物として取り上げるのは、江戸時代以降のものが多く、それ以前の中世のものは大変珍しく貴重なものとなります。

黒岩地区には、中世の鎌倉時代に制作された「正嘉銘板碑」(黒岩探訪第4号で紹介済)があり、県内でみても古いほうで貴重な文化財になっています。

その他の石像物は古くても江戸時代以降になります。この時代の代表的な石造物は、「庚申塔」「道祖神」「馬頭観音」です。特に庚申塔は多く合併前の旧富岡市の範囲で980基を数え、石造物全体の30%を占めています。

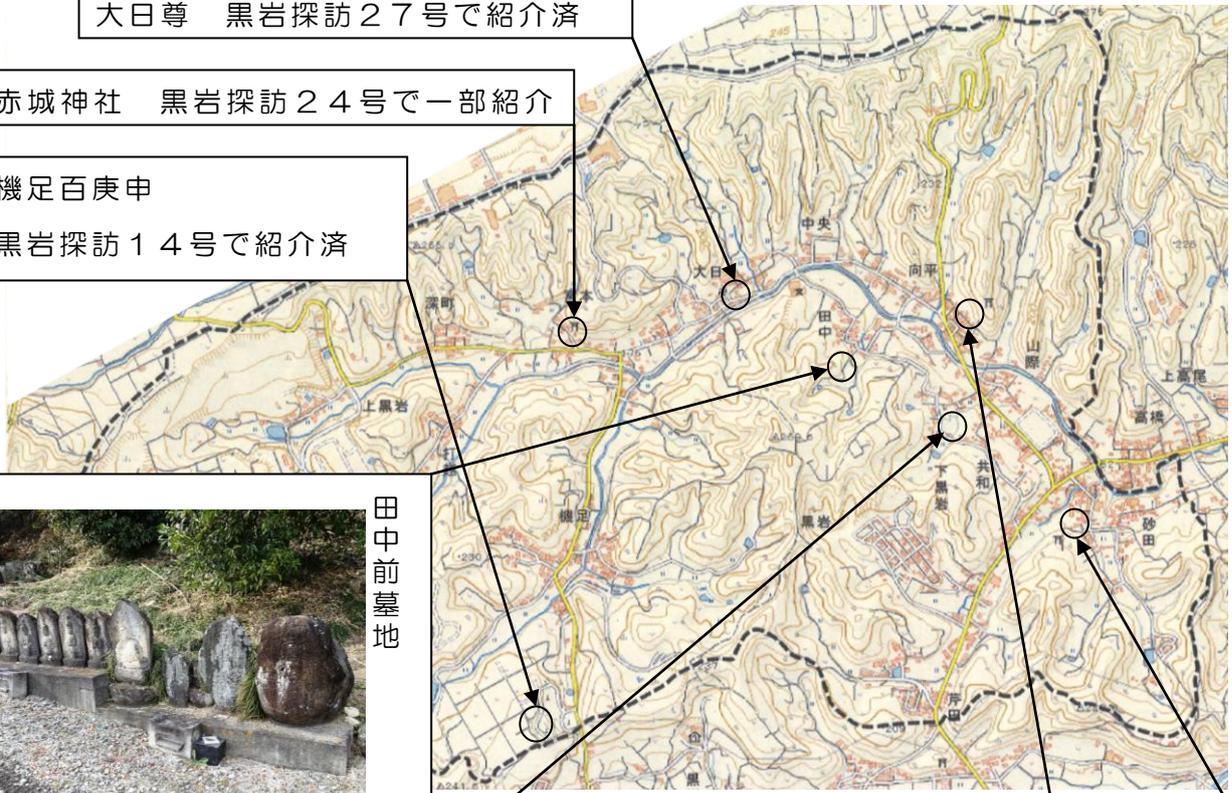
今号では、石造物が集中している所を紹介します。機会があればもう少し詳しく説明したいと思います。

大日尊 黒岩探訪27号で紹介済

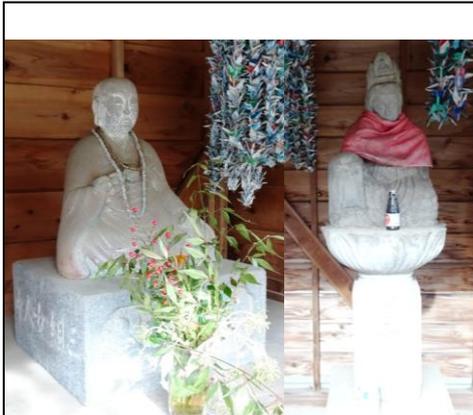
赤城神社 黒岩探訪24号で一部紹介

機足百庚申

黒岩探訪14号で紹介済



田中前墓地



共和公会堂



向戸公会堂

砂田西墓地

黒岩探訪37号で紹介済